



十文字西 公民館だより

■令和3年度－10号
令和4年 2月 1日発行
〒019-0513
十文字町植田字一ト市330
☎ 44-3100 FAX 44-5243

「新コロナ禍での交流センター（公民館）事業」

十文字西地区交流センター長（兼）公民館長
近 孝 夫



西地区の皆様如何お過ごしでしょうか。令和4年も1カ月過ぎました。本当に時の流れは早いものです。しかし、コロナは「デルタ株」から「オミクロン株」に変化し全世界にまん延しております。まだまだ油断できない状況であり、早く安心安全が確保されることを願っております。

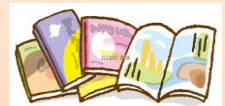
さて、昨年11月18日には、生涯学習課はじめ、地域の皆様や運営協議会委員の御尽力により、第71回秋田県公民館大会を横手市民会館で初のオンライン形式で実施しました。当番地区の代表として一安心しております。

大会の基調講演では、コロナ禍での交流センター（公民館）事業について、弘前大学越村康英准教授は「コロナ禍という社会の転換期」だからこそ、「今一度、原則に立ち返り、公民館の今日的役割を模索していくこと」をシンプルに考え直してみることで展望が開けるのではないかと話され、それを参考に次のようにまとめました。

アフターコロナの公民館を切り開く ～ コロナ禍での経験を活かして ～

- 1、住民への情報発信（「住民に届けたい」という意識）
⇒アウトリーチ型（情報や支援を届ける）の公民館事業等に発展する可能性がある。
- 2、「対面による学習活動」の価値／オンライン活用の可能性
対面だから参加できる人・・・オンラインでなければ参加できない人
⇒アフターコロナの公民館活動（事業）はハイブリッド型に
それに対応できる環境・条件や職員体制の整備
- 3、住民の「生活」、その基礎としての「地域」「社会」の現実を鋭く見つめ、学習の課題化と、住民とともに公民館の実践化を作る
⇒「社会教育・公民館の原則」に立ち返る。

～ 偉人の言葉に学ぼう ～



◆心に響く「論語」より

「子曰く、君子は人の美を成す。人の悪を成さず。小人は是れに反す。」

《意味》君子は人の美点を伸ばしてやり、悪い点は出さぬようにしてやるものだ。小人はその反対だ。小人は他人の成功を喜ばず、人の欠点をあげつらい美点までけなして足を引っ張ろうとする。



地域の話題



冬休み子ども教室が開催されました！ 1月4日(火)～1月7日(金) 西地区館にて

子どもたちの豊かな体験活動のために、地域住民の協力のもと、子ども教室が開催されました。今回は7人の子どもたちが参加し、「西地区交流館の見学とポッチャ」「十文字和紙で作品づくり」「横手警察署の見学」「楽しい理科教室」と、様々なメニューを楽しく体験しました。



●十文字和紙愛好会の泉川祐子さんが先生となり、地域の方にサポートしてもらいながら、折り紙で立派なおひなさまを作りました。



●わくわく科学工場の石橋研一さんが先生となり、植木鉢の受皿を使ってヨーヨーを作りました。カラフルなシールで個性的なデザインに仕上げ、最後はみんなで出来栄を確認しました！



安心安全教室は中止します

当初予定の6月から延期していた教室ですが、コロナウイルス感染拡大により、残念ながら今年度は中止することになりました。今後も地域の安心安全のための事業を継続していきますので、皆さん、どうぞご参加ください！



西地区館の改修工事が終わりました。

色々ご不便をおかけしておりましたが、1月末で改修工事が終わりました。冷暖房は全室エアコンが設置され、快適に過ごせるようになりましたので、地域づくり活動や生涯学習活動にご活用ください！

●節分のお話 ～今年の節分は2月3日 恵方は北北西やや北～

節分は、文字通りに季節の分かれ目を意味し、昔は立夏、立秋、立冬それぞれの前日をさしていたそうですが、現在は立春前日を節分とし継承されていますね。

立春は新年の始まりで、節分は大みそかのような1日。節分に豆をまく理由として「魔を減する＝マメ」に通じ語呂が良い、五穀（米、麦、アワ、キビ、豆）の中では投げつけると一番痛い、五穀には霊力があり、まいた場所は清められて聖域になるなど諸説あるそうです。早くコロナウイルスが終息するよう、豆まきをしたり恵方巻を食べて悪疫退散ですね！

